
セミ

旋風

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

セミ

【Nコード】

N4396E

【作者名】

旋風

【あらすじ】

暗闇の中に僕は一人たたずんでいる。この空間には僕一人しかいなくて、誰の侵入も許さなくて、僕一人の空間。何もかもが嫌になり閉じこもったからの中。そしてある日、僕は窓を開けた。

(前書き)

人は変わります　それがどんな理由をもっていても

人は変わります　どんな強い意志を持っていても

人は変われます　あなたという人がいる限り

他人は変わりません　それはあなたではないのだから

あなたはいつ変わりますか？

外はもう蝉の声でにぎわっている

大きな大合唱でセミは夏の風物詩を唱っている。誰に言われたわけでもないのにセミは必死に一日中鳴いている。

子孫を残すための唱なんて人々は思っていないだろう。でも虫たちは子孫を残すのに常時必死だ。賑やかに羽をこすり合わせたり体内で音を反響させたりしている。

そんなに必死になっているセミは今何を考えているのだろうか。何も考えず子孫を残すための歌を熱唱しているだけなのだろうか。

じゃあ今ここで一人部屋にこもっているおれは一体何に必死になっているんだらう。外では蝉がにぎやかにしているのに俺の部屋では何もにぎやかな声も歌もない。あるのは暗闇のみ。

この空間は何の音も発しない。響くのは時計が1秒ごとに時の流れを知らせてくれる秒針の音のみ。

光はあった。暗闇の中に光青い光・・・

液晶画面に映るデスクトップはとも殺風景だった。こんなにも散らかっている部屋とは対照的に、数個のアイコンだけ。

最近パソコンをいじっていないからというのはうそになる。

それどころか、最近パソコンばかりいじって外にもろくに出ていない。だから、換気のためにカーテンを開けて、ドアを開けた時、真夏の太陽が文字通り目に刺さったようだった。

光になれた時、久しぶりに外の景色を見た。見えるのは自然の緑とコンクリートの灰色。行き交う車の赤、緑、青、紫、白・・・何種類もの色があった。その色がある中、まるで合唱のように響いてくる蝉の声。

・・・しばらく久しぶりの外という開放的な空間に見とれていた。そしてそのうちに、さっきからにぎやかに鳴いているセミの色を見なくなつた。確か羽が透き通ってきれいなやつがいたはずだ。

そして、何の躊躇もなく、躊躇いもなく……むしろ急いで
僕は半年間閉じたままの鍵付きのドアを外した。

そこはもう真夏だった。

(後書き)

誰だって変わる時はある。

時とその人がいる限り。

悪い方向にも良い方向にも変わる。だから変わってしまってもいえる。

でもそれは決して非ではない。

それが人間であり、生命であるから。

彼の過去はあなたが考えてみてください。

それによってあなたが変われるきっかけができるかもしれないから。

・

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4396e/>

セミ

2010年12月23日14時16分発行